基調講演・事例講演詳細

各講演における詳細内容は以下を予定しています。

全体会

基調講演

「AI 時代の大学教育－生成 AI の活用と教育の再設計－」

中井 俊樹様
愛媛大学　教育・学生支援機構　教授

生成 AI の普及により、大学で学ぶ意味や授業に参加する価値が改めて問われています。本話題提供では、生成 AI の特徴や活用の意義、教育実践上の課題、大学としての組織的な対応を整理するとともに、生成 AI を教育の現場において改善に活かす具体的な方法を考えます。さらに、AI 時代における学習のあり方、評価の方法、教員の役割、組織的な支援などを捉え直し、大学教育をどのように再設計していくのかを考えることを目指します。

分科会①　1 - A 事例講演：業務のデジタル化

事例講演

「教務システム更新を業務改革の機会に -GAKUEN で進める証明書・申請・決済のデジタル化 -」

西元 義貴様
花園大学　地域連携教育センター　事務室長

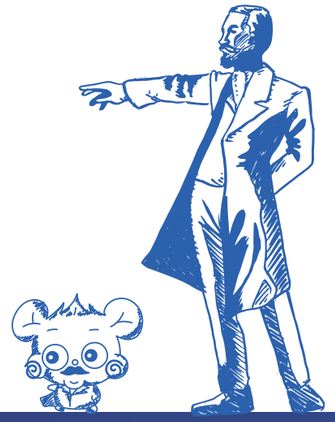
教務システムの更新を機に、他社製システムから GAKUEN サブスクへ移行。デジタル証明書、Web 申請、マルチ決済を組み合わせ、現金・証紙を削減し、証明書発行機の完全廃止と業務負担・コストの軽減を実現した取り組みを紹介します。

事例講演

「合理的配慮対応を「仕組み」で支える挑戦 - 情報一元化と業務効率化 -」

杉山 力哉様
北海道科学大学　事務局　教務課第二課長・教育イノベーション推進機構副機構長

北海道科学大学では、合理的配慮への対応を進める中で、教職員間の情報共有や支援情報の管理、さらには増大化する業務負担と様々な課題に直面してきました。本講演では、対応が必要となった背景や 2026 年度より見直した情報共有の仕組みを紹介するとともに、運用上の課題とその解決に向けた工夫について、取り組み内容をご紹介します。



分科会②　2 - A 事例講演：業務改革と効率化

事例講演

「『本当に変わるのか？』から始まった RPA 導入検証 -JAST との伴走支援で取り組んだ大学業務改善の実践報告 -」

近藤 健一様
愛知学院大学　名城公園キャンパス事務室　事務長補佐

専門人材不在の大学が、「本当に変わるのか？」という疑問を抱えながら、JAST との伴走支援のもと教務業務の RPA 導入を検証しました。本発表では、導入による業務効率化の成果に加え、業務フローの見直しや職員の意識改革につながった実践事例をご紹介します。また、導入時に直面した課題や苦労、検証を通じて得られた気づきや今後の活用に向けた考察についても、現場の視点から率直にお伝えします。

事例講演

「AI と歩む共立女子学園の AX ～「100 の事例」と「業務の 5 要素可視化」で実現する AI 共生時代の組織変革～ 」

塩山 眞衣様
学校法人共立女子学園　法人事務部　情報システム課　情報システムグループ
青木 良輔様
学校法人共立女子学園　法人事務部　情報システム課　情報システムグループ　グループリーダー

本学園では、生成 AI を安全かつ効果的に業務へ適用するため、2024 年度から環境整備と段階的な組織展開を進めています。本講演では、これまでの経緯に加え、教職員から収集した「100 の活用事例」を通じて見えた成果や課題、利用者の心理的ハードル軽減の工夫を紹介します。
併せて、単なる導入にとどまらず「AI へ任せる作業と人間が判断する領域」を明確にする業務整理手法（5 要素の可視化）や、AI 時代の管理職向け研修など、独自の取組みについても発表します。

分科会③　3 - A 事例講演：大学経営の高度化

事例講演

「教学データの蓄積から活用へ　- 学生支援につなげる教学 IR -」

真鍋 亮様
東北大学　理学研究科　特任准教授

大学には、履修、成績、学生属性、学修成果など、多様な教学データが蓄積されています。本講演では、教学 IR の基本的な考え方を整理し、教学データを学生の状況把握や支援、教育改善にどのようにつなげていくかを考えます。
データの見方や分析の進め方を通じて、各大学での実践に活かせるヒントを提示します。

事例講演

「AI を活用した人事評価システムの取組みについて」

山田 芳樹様
名古屋芸術大学　副学長

調整中

※プログラムには変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。